

埼玉県審判員チェックリスト レベルアップ用

氏名:

審判員基本動作

1. 大きな笛と声(3種類の笛を吹き分ける)
2. ボールの位置、起動、高さに適合したポジショニング
3. プレイヤー動作の予測と判断
4. コール時の姿勢(シャドーイング。基本動作に準じ、停止した姿勢を正した状態)

主審 P103 副審 P108 線審 P108

※埼玉県では県外大会でのコートマスターは認めていません。

区分	チェック	指導事項
主審	1	セットアップ時、静止した状態で座らせ人数確認をする(副審と人数確認する)
	2	笛(3種類の笛の使い分け)・声(大きな声)・動作(基本動作)でジャッジをする
	3	トスアップのボールの高さ・方向(やり直す勇気も必要)
	4	ボールとの距離・角度をとり、目的を持ったポジショニング
	5	パス・アタックの見極め
	6	パスカウントは見やすい位置で表示する(パスカウントはキャッチまたはワンタッチ成立した時点)
	7	ボールを追って動き、止まって判定をする
	8	ジャッジ及び各ファール動作はルールブック通りに正確に行う
	9	確信の持てないジャッジ(アウトかな?)は判定できない
	10	直接頭部付近の投球だけでなく、間接的に当たった頭部付近の投球も安全確認を行う
	11	オフィシャルタイムアウト時の報告は、ルールブック通りの文言を使う
	12	タイムイン時は、試合再開時の留意点を確認したうえで行う
	13	試合終了間際のアウトに関わる投球に関しては、有効か無効かをコートマスターに確認をする

受講者 (今回意識すること、そのための工夫等)

指導者

埼玉県審判員チェックリスト レベルアップ用

氏名:

副審	1	セットアップ時、静止した状態で座らせ人数確認をする(主審と人数確認する)
	2	ジャンプボール時、ジャンパーの選手番号確認は主審とアイコンタクトで行う
	3	主審の補佐(全てのファール、アウト及びセーフの判定)
	4	センターラインを注視し、前後左右に移動しブラインド部分を作らない
	5	オフィシャルタイムアウト時、主審より招集指示を受けた場合は線審を招集する(招集権限は主審)
	6	タイム宣言時、内野プレイヤーを座らせる(ボールの確保、ボールを保持していた選手番号の確認)
	7	線審よりタイムの要求があった場合は、全審判員(6審)が集合する
	8	副審側のアウト・オブ・バーンズの判定については、動作と吹笛を行う
	9	センターラインに関するファールについて、一連の動作によるファールにも意識する
	10	アドバンテージが取れているか

受講者 (今回意識すること、そのための工夫等)

指導者

線審	1	ベンチ前整列時、プレイヤーに対し負傷の有無または禁止用具等に抵触していないかを確認
	2	主審の補佐(アウト及びセーフ)
	3	攻守切替時(支配権が変わった時)の移動など、コート内は歩かない
	4	判定すべきラインを体の正面で見るように動く
	5	ファール時、旗はファールを犯したプレイヤーを指し(動作があるものは動作も行う)コールは主審に向ける
	6	アドバンテージが取れているか
	7	アウト・オブ・バーンズ(ワンタッチ、ノータッチ)の判定のタイミングを理解しているか
	8	アウト・オブ・バーンズ判定は、主審に向け、支配権の指示があるまで旗を下ろさない
	9	オフィシャルタイムアウト宣言時、外野プレイヤーを座らせる
	10	副審及び線審よりタイムの要求があった場合は全審判員(6審)が集合する(外野プレイヤーを座らせてから)

受講者 (今回意識すること、そのための工夫等)

指導者

記録員	第503条 記録員の職務を理解し、正確に行えているか
計時員	第504条 計時員の職務を理解し、正確に行えているか